

様式第6号その1（第5条関係）

令和2年4月20日

三鷹市議会議長様

会派名 日本共産党三鷹市議会議員団

代表者氏名 大城 美幸



令和元年度三鷹市議会政務活動費実績報告書

令和元年5月10日付け31三議第161号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| 1 交付決定を受けた額                | 1,188,000円 |
| 2 調査研究の成果及び収支決算書<br>別紙のとおり |            |



様式第6号その2（第5条関係）

調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収 入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,188,000	27,000円×4人×11ヶ月
2 その他の収入		
計	1,188,000	

(2) 支 出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	166,630	第61回自治体学校参加費など
2 調査旅費	214,280	会派視察旅費など
3 資料作成費	696,288	市議団アンケート作成費、アンケート返送料など
4 資料購入費	54,932	書籍購入など
5 広 報 費	0	
6 広 聴 費	2,500	学習会会場使用料
7 事 務 費	54,630	コピー機使用料、プリンターインク代など
計	1,189,260	

差引額（収入－支出）                      -1,260円                      （支出超過分1,260円は会派負担）

## 調査研究の成果

日本共産党三鷹市議会議員団は、政務活動費を活用して、主に下記のような調査研究を行いました。

(1) 毎年取り組んでいる市政アンケートに取り組み、約400人の市民から回答が寄せられました。「生活が苦しい」との声が69%にのびりました。2019年の台風19号の経験から都市型災害の教訓や課題が明らかになりました。アンケートに寄せられた要望をもとに、市議会の一般質問で取り上げ、市民のくらしの実態を告発するとともに、予算要望にも反映させ、施策に反映するよう提案してきました。アンケートの結果についても報告するニュースを作成、配布する予定です。

(2) とくに市民の負担感が強い国民健康保険税については、学習会を開催し、高すぎる国保税の制度矛盾や三鷹市の現状、均等割の軽減を求める取り組みについて交流しました。

(3) 1月末に行った会派視察では、「空き家対策」と「少人数学級教育」をテーマに、視察を行いました。各務原市の市庁舎は建て替え実施中、三次市の庁舎は数年前に建て替え済みであり、市庁舎建て替え問題に関連して庁舎内の案内表示の工夫なども大いに参考になりました。視察で学んだ取り組みを三鷹市のなかでも活かすべく、市議会の質問だけでなく、市民団体の集まりやニュース発行などさまざまな機会をつうじて視察の報告を行いました。会派視察の詳細は、議員行政視察に係る結果報告書に記載のとおりです。

(4) 改選後、新人議員2名が加わったこともあり、自治体問題研究所主催の自治体学校に3名が参加し、公契約、地方財政、地域交通、原発問題などについて学び、議会質問などに活かしました。

(5) 保育研究所主催の地方議員セミナーに参加し、幼児教育・保育の無償化、学童保育の状況と課題について学び、議会質問などに活かしました。

研修や視察で学んだこと、また市民からの要望や各団体からの意見・要望をもとに、調査を行い、「市民が主役」の立場で市政をチェックし、市民の要求実現のための市政運営に活かします。また、市政や議会を遠い存在とせず、暮らしに密着したものであることを、市民と共有できる活動に取り組んでまいります。